



京大広報

No. 610

2006. 3



総合博物館特別展「火星の素顔—Mars Expressがとらえた3次元画像—」会場の様子
—関連記事 本文2119ページ—

目次

〈大学の動き〉

- バンドン工科大学との学術交流……………2106
- 総長主催「外国人研究者との交歓会」の開催
……………2106
- 山内 溥氏から新病棟建設費の寄附……………2106
- 平成18年度「教員研修モデルカリキュラム
開発プログラム」の採択結果……………2107
- 部局長の交替……………2107
- 平成18年度入学者選抜学力試験の第1段階
選抜状況……………2108

〈部局の動き〉

- 宇治地区一構内車両入出構方法の変更……………2109
- 4月1日より医学部附属病院敷地内が
全面禁煙に……………2110
- 敷地内禁煙に向けた講演会を実施……………2110

〈寸言〉

- わが「まち」京都 松本 修……………2111

〈随想〉

- イヤーズプレート 名誉教授 向山 毅……………2112

〈洛書〉

- あの世とこの世の道理 橋 邦英……………2113

〈訃報〉

- ……………2114

〈日誌〉

- ……………2116

〈話題〉

- アスベスト問題・京都シンポジウム～もう一歩
ふみこんで、知り、学び、考える～の開催……………2117
- 医学部附属病院で「きさらぎコンサート」
を開催……………2118
- 京都地域留学生交流推進協議会総会を開催……………2118

〈お知らせ〉

- 総合博物館特別展……………2119
- 原子炉実験所一般公開……………2119
- フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地
春の一般公開 自然観察会……………2120

〈編集後記〉

- ……………2120

京都大学広報委員会

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

フィールド科学教育研究センター 上賀茂試験地 春の一般公開 自然観察会

1. 日 時：4月22日（土）9：30～12：00（受付開始 9：00 小雨決行）
2. 場 所：京都大学フィールド科学教育研究センター里域ステーション上賀茂試験地
3. 内 容：2006年度上賀茂試験地春の一般公開自然観察会
試験地内の自然観察（試験地教職員が案内、解説します）
4. 持 ち 物：汚れてもいい服装，歩きやすい靴，雨具
5. 定 員：30名
6. 受 講 料：無料
7. 申 込 方 法：必要事項（氏名・住所・年齢・性別・電話番号）を明記の上，往復はがき・FAX・電子メールのいずれかの方法で申し込んでください。なお，申込み1件につき5名までの応募が可能です。その際には，応募者全員の必要事項を必ず明記してください。
8. 申 込 締 切：3月31日（金）当日消印有効。申込みが定員を超えた場合は，抽選とさせていただきます。抽選結果は締切翌週にお知らせします。
9. 問 い 合 わ せ 先：〒603-8047京都市北区上賀茂本山2 フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地
TEL：075-781-2404 FAX：075-723-1262
E-mail：kamigamo@kais.kyoto-u.ac.jp
詳細は，フィールド科学教育研究センターホームページをご覧ください。
<http://fserc.kais.kyoto-u.ac.jp/kami/news.html>

編集後記

「大規模化した大学において，特に近年のように事態が痛感されるのは，現在大学において生起している情報の不足であります。それは，いうまでもなく，大学における各人が的確で迅速な情報を得てそれぞれの場での状況把握，問題点の認識や判断をすることを期待するからであります。－中略－広報活動というものは『言うは易く行なうは難し』の点があり，従来からその必要性について各方面から指摘を受けながら今日までその実現が遅れていた訳であります。当面事実の報道ということに編集の方針をしばって発行していくことになっております。」

（1969.5.20付，NO.1 京大広報の発刊にあたって 奥田 東 元京都大学総長の記事抜粋。）

今求められている広報戦略は，本紙創刊当初から指摘されているところがあります。法人化後の事務改革のなか，キャンパスに新たな春を迎えるところですが，さらに，当時はなかったホームページでの迅速性やコストパフォーマンス等に配慮した工夫と改善が広報活動に求められています。